

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [多摩市立落合中学校] 担当教諭名 [山口 有紀子] (美術部 13名)
 交流相手国 [アメリカ]
 海外学校名 [Scales Mound Community Unit District #211] 担当教諭名 [Karen Kelly]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	美術部	異文化理解	20

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	互いの文化を理解しよう
絵に込めたメッセージ	日本の文化の美しさを表現するとともに「感謝」のメッセージをこめました。縁あって、交流することができる「感謝」、私たちの国を理解して下さろうとする様々な取り組みをして下さったことへの「感謝」、そして日本の復興へのあたたかい励ましに対する「感謝」。それに対して「ともだち」というメッセージが届き、たいへん感激しました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
生徒は楽しみながら作品に向かうことができました。本校の参加生徒は「美術部」ということだったため、作品の内容のみならず、相手国や相手校の友達の様子を理解するということをいつも念頭におくように意識しました。そのため、作品の美しさだけにとどまらない、人間関係を築くことができました。	生徒の取り組みの問題ではなく、運営上の課題ですが、金銭面での課題を感じました。相手国への郵送料が急遽必要になったことへの学校としての対応はとりづらかったです。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
アメリカに作品が移動中も「校内作品展」で取り組みを発表しました。作品が戻ってからは校内での発表が中心でした。朝礼で生徒が発表したあと、学校ホームページや学校便りに掲載しました。その後は校内の多くの人目にとまるように、体育館に掲示しています。卒業式・新年度の入学式まで掲示してもらうことになりました。	学校便りに掲載後、実物を見ることができないかと保護者の方が来校して下さいました。また、校長先生に、作品作成の経緯を詳しくお話し、朝礼での発表につなげることができました。日頃、作品に向かうことが多い生徒が、この取り組みを通じて人とかかわりを強く意識することができました。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	生徒の反応	実施教科
導入	9月	アートマイル国際交流壁画について 自己紹介 相手校の生徒との交流	海外との交流に不安をいだく生徒もいたが多くの意欲を見せていた。美術部紹介や自己紹介では英語を実際にタイピングすることにわくわくしていた。	部活動
情報収集	10月	テーマについて下調べ 日本文化について	掲示板をつかい自己紹介に反応があるなど、海外とつながっていることを実感しながら作品作りを進めていた。日本について改めて意識するようになった。	部活動
テーマ検討	11月	構成・下絵の作成 日本文化の紹介	日本文化を絞り込むことがなかなか難しく、作品に反映できないものは掲示板を利用することとした。文化の奥深さを感じていた。	部活動
制作	12月	作品の完成	作品を美しく仕上げるとともに、相手校を感動させられるように作成しようと努力した。美術部としての技術だけでなく、交流できる喜びを表現することを意識した。また締め切りも意識することができた。	部活動
鑑賞	3月	鑑賞 朝礼での発表 ブログでの交流	戻ってくるのが楽しみな様子だった。相手校から戻ってきた作品に感動した様子であった。それをたくさんの人に見て欲しいという意欲がより高まった。	部活動

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	5	5・④・3・2・1	本校の校外学習で鎌倉に行くこととタイアップし、日本文化をどのように紹介しようかと試行錯誤していた。
異文化の理解		5・④・3・2・1	アメリカの農業を中心としている地域との交流で、アメリカにも色々な顔があるということを感じることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	2	5・④・3・2・1	作品が完成し、戻ってきてから、どのような過程でこの作品を作り上げたかを説明する様々な機会があり、努力した
情報活用能力 (情報収集・発信)		5・4・③・2・1	JAMの掲示板への書き込みは教員が行った。美術部のほとんど1年生で生徒が英語で発信する事は少々困難。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	1	⑤・4・3・2・1	作品の作成に当たり、美術部の人間関係が深まるとともに、相手校を意識する感覚を生徒は持つことができた。
協働する力 (役割分担・協力)	3	⑤・4・3・2・1	自分の担当領域のみならず、他のメンバーの担当領域についても互いにコメントし合い良い作品にしようと努力した
学習を追究する意欲	4	⑤・4・3・2・1	実現したい作風に向けて、どうしたらそのような作風に仕上がるか美術指導の先生にたくさんアドバイスをもらった
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		⑤・4・3・2・1	日本文化が多岐にわたり改めて文化を表現することの難しさを感じるとともに、表現しきれないものは掲示板を使用
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	生徒が作品が戻ってくる日を楽しみにしていた。戻ってきた作品に感動している表情に達成感があふれていた。